

日本環境感染学会オンデマンドに参加して

感染管理担当看護師長 工藤靖子

今年の日本環境感染学会は、7月25～27日に京都で開催されました。学会テーマは「楽しく学ぼう感染対策・集え京都へ」でした。私はオンデマンド参加となりましたが、現地参加した人は、楽しく学べたのかな？羨ましいな！…そう思いつつ聴講した中で、私が初心に立ち返れた演題についてご紹介します。

ICTラウンドの形骸化についてです。ICT（院内感染制御チーム）が発足してから10年以上継続していますが、何かマンネリ化してきているなあ～と感じていました。効率性、院内の情報共有、改善策の実践、継続性など毎年考えながら実施してきました。今回、施設の職員とICTメンバーが同じ視点で話をすること、そして柔軟に意見交換を行いその場に合った環境を整備していくことである、という発表がありました。人と人とが交流し、意思疎通ができて初めて、ラウンドの意味があることを再認識しました。ICTラウンドは、チェックをしに行くのではなく、部署の職員と交流しに行く、という基本に立ち返ってこれからもステップアップしていきたいと思います。

武蔵台文化センターまつりに5年ぶりに参加しました



地域の行事「武蔵台文化センターまつり」ですが、近年感染症の影響による中止のほか、府中療育センター自体が丘の上へと移転したことにより以前のように裏門をあけて気軽に武蔵台少年野球場へ出かけられなくなっていたところ、今年度5年ぶりに出店と利用者の参加を再開しました。センターからは7月13日（土）に「ヨーヨー祭り」で参加。旧センターのあった場所までマイクロバスで送ってもらい、そこから徒歩で会場への3便を

設定しました。各病棟から希望者を募り7名の利用者と2家族3名が楽しむことができました。浴衣の女性利用者は皆に「よく似合ってますね」と声をかけられて笑顔満開。

参加者は特別優待チケットでヨーヨーつりを楽しみ、祭の雰囲気やおいしい模擬店の匂いなどを満喫してきました。地域の子どもたちにもヨーヨーつりは大変好評で、560個が完売でした。（生活療育支援科）



〒183-8553
東京都府中市武蔵台2-9-2
東京都立府中療育センター
電話 042(323)5115
FAX 042(322)6207

--*ホームページもご覧下さい*-*-*

<http://www.fukushi.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>

ひだまり

都立府中療育センター新聞 第560号 発行日 令和6年8月31日



夏の企画 ～そうだ！夏祭り行こう！～

生活療育支援科 田口美穂



7月24、25日（水、木）に、生活療育支援科行事「夏の企画：そうだ！夏祭り行こう！」を行いました。「芽多瀬（メタセ）神社例大祭」の夜祭りをイメージして、ランタンの薄明りが照らす廊下から、生活療育支援科活動室に「夜店」を設置、芽多瀬神社の鎮座するホワイエには、各部署が工夫を凝らして制作した「吹き流し」が飾られ、多目的ホールは盆踊り会場となりました。

夜店では、ヨーヨーつりと写真撮影のコーナーをメインとして、さまざまな食べ物やくじ引きといった屋台をイメージした装飾が並び、焼きとうもろこしやたこ焼き等の食べ物の香りが漂い、花火の映像と音や、電飾やランタンの橙色の光と相まって、夜祭りの雑多な賑わいが演出されました。

（スポットライトの）満月がかかる盆踊り会場は、カラフルな照明や電飾で彩られ、和太鼓も設置されて雰囲気盛り上げました。1日目は、踊ったり和太鼓を叩いたり比較的ゆったりとしていましたが、2日目には、総勢10名もの大学生の盆踊りサークルのボランティアに参加していただき、一転してエネルギッシュで華やかな盆踊りとなりました。

夜店でヨーヨーつりの記録に挑戦したり、好みの夜景を選んで写真撮影をしたり、わたあめ作りに挑戦して味見もしてみたり、パワフルなボランティアと元気に踊ったり、太鼓を叩いてリズムや響きを味わったり等、盛りだくさんの企画となりました。利用者だけでなく、ご家族や職員にも、少しでも夏のひと時を楽しんでいただけたなら幸いです。



夏のお楽しみ会

2 A病棟 大塚好雄



7月26日（金）、2 A病棟では夏のお楽しみ会として「夏祭り」を行いました。多くの利用者が子供だった頃に街でよく見かけた、昭和の雰囲気のある夏祭りをイメージしました。

4つのアトラクションを用意し、アーチェリーによる的当てでは利用者は弓矢の腕前を競い合いました。金魚すくいでは大小いくつかのビニールプールを用意しました。テーブルの大きなプールに近寄れない方もそばに小さなプールを持ってきて、カラフルな金魚をポイで落ちていくすくうことができました。

大きなスイカ割りには長い棒で叩くと豪快に割れるさまを楽しみました。昭和時代のスー

パーアイドルといえば西城秀樹さんという呼び声が高く、西城さんのイメージの楽しいおみくじで運勢を占いました。パネル絵のカードを一人一枚ずつ選んで貼り、西城秀樹さんの大きなパネル絵を完成させました。笑顔と歓声に包まれたにぎやかな行事となりました。ご協力いただいた皆様に感謝を申し上げます。



夏祭り

1 A病棟 榎本百子

7月31日に夏祭りを開催しました。「手の感触だけで物を当てるゲーム」「写真撮影」「大太鼓」のコーナーを企画し、ブースごとに楽しみました。ゲームコーナーでは、恐る恐る手を出す方、躊躇せずガッシッと握る方など、それぞれの個性が発揮されました。中にはヒントもなく「にんじん!」と本物に触れ当てた方もいました。写真コーナーでは、浴衣やはっぴを羽織って写真

撮影し、笑顔で素敵な写真にみんな大満足です。

また、大太鼓を設置して「ドンドン」と思いっきり叩き、大きな音が会場中に響きわたりました。盆踊りの曲に合わせた音色はお祭りを大いに盛り上げていました。最後は全員で「ビューティフルサンデー」を歌って踊り、楽しいひと時を過ごすことができました。

つうしょ
通所夏祭り～竜宮城へようこそ～

通所 浦本左起子



梅雨も明け、うだるような暑さが続く中、通所は7月18日（金）に夏祭り会を開催しました。今回のテーマは、「竜宮城へようこそ」です。「竜宮城」と書いて「つうしょ」と読みます。バスの運転士さんたちにも協力してもらい、カメになりきって利用者を迎えに行ってもらいました。職員は、魚になりきって利用者をおもてなししました。通所の玄関では、大きいカメがお出迎え。通所廊下にはスズランテープの海をつくり、活動で利用者と一緒に作った魚を泳がせたり、多目的ホールでは魚の風船を飛ばしたりと海の中（竜宮城）をイメージしました。

午前の部は、招待観劇で生田流牡丹会の美女4名をお呼びし、利用者を三味線の演奏でおもてなしをしました。曲目は「海」「浜辺」など海を連想させるものから、「涙そうそう」「東京音頭」など、昔から伝わるものや近年の音楽まで、時代の流れを感じさせる竜宮城ならではの演奏会でした。三味線の生の演奏はなかなか聴く機会がないと思うので、利用者も興味深そうにうっとり聴き入っている様子でした。



昼食を摂った後は、午後の部「玉手箱探し」です。通所の至るところに置いてある、大きいものや小さいもの、丸かったり四角かったりの玉手箱を見つけては景品と交換するというゲームを行いました。利用者はいろいろな箱を見比べ、どれにしようか迷っている様子もありましたが、「これに決めた!」といった表情がすごく良かったです。けむりがモクモクと出てくる本物の玉手箱を見つけた人は残念ながらいませんでした…。それでも、利用者全員が景品と交換できて良かったですね。

海の中の竜宮城をテーマにした夏祭りはいかがだったでしょうか。海の中でたっぷりと「涼」を感じることができたでしょうか。まだまだ暑い日が続くと思いますが、皆さま体調管理には気を付けてお過ごしください。



ここはまるで竜宮城…
三味線の調べにうっとり♪

